

取扱説明書 電波デジタル置時計

保証書付き	
単 4 形	乾電池 × 2 個 (別売品)
充電式電池は使えません	

取り扱い上のご注意

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するための重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 注意を無視した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- | | |
|----------------------|----------------|
| 小さなお子様の手の触れない場所で使用する | 梱包用ポリ袋は絶対に破れない |
| ●けがの原因になります。 | ●窒息の原因になります。 |

注意 注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、損害を負う可能性があります。

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 本体を分解・改造しない | 修理技術者以外は、絶対に分解、修理、改造をおこなわない |
| ●火災や感電の原因になります。 | ●発火したり、異常動作してけがの原因になります。 |
| 高温や低温になる場所、湿気やホコリの多い所、窓辺や車内など直射日光にあたる場所、強い磁気のある場所、激しい振動のある場所での使用や保管はしない | 水に浸けたり、水をかけたりしない、本体を丸洗いしない |
| ●変形や変質、故障の原因になります。 | ●ショートや感電の原因になります。 |
| 使用済みの本体などは、火中に投入しない | お手入れは、シンナーやベンジンなどの揮発性溶剤は使用しない |
| ●液漏れや発火、破裂の原因になります。 | ●変形や変質、変色の原因になります。 |
| 火気の近くや可燃物の近くで使用しない | 不安定な場所で使用しない |
| ●変形や故障の原因になります。 | ●転倒して破損の原因になります。 |
| | 電池交換する時以外は、決して電池ボックスの蓋を開けたり、分解しない |
| | ●液漏れや発火、破裂の原因になります。 |

電池について

危険 注意を無視した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険があります。

- 電池から漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受ける
- 失明など傷害の恐れがあります。

警告 注意を無視した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 電池を火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない
- 絶縁物やガス排出弁などを損傷させたりして、漏液、発熱、破裂の恐れがあります。

- 電池の(+)と(－)を逆にして使用しない
- 充電やショートなどで異常電流が流れたりして、漏液、発熱、破裂の恐れがあります。

- 電池の(+)と(－)を計金などで接続したり、また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない
- 電池がショート状態となり、過電流が流れたりして、漏液、発熱、破裂の恐れがあります。

- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しない
- 特性の違いから、漏液、発熱、破裂の恐れがあります。

- 〔仕様：電波(時刻自動修正)・アラーム・スヌーズ・温度計・カレンダー・曜日・バックライト〕
- 60696：WH(ホワイト)

- 〔本商品は、防水防滴仕様ではありません〕
- この度は、当社商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。取扱説明書をよく読みの上、正しく安全にお使いください。取扱説明書は大切に保管していただき、必要なときにお読みください。

注意 注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、損害を負う可能性があります。

- | | |
|---|---|
| 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけない | 電池を水などで濡らさない |
| ●電池がショートし、漏液、発熱、破裂する恐れがあります。 | ●電池が発熱したり、電池端子にサビが発生する恐れがあります。 |
| 電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えない | 電池を保管する場合及び廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁する |
| ●漏液、発熱、破裂の恐れがあります。 | ●他の電池や金属製のものと混ぜると、漏液、発熱、破裂の恐れがあります。 |
| 電池を変形させない | 機器の取扱説明書や注意書きに従って、用途に適した電池を正しく使用する |
| ●絶縁物やガス排出弁などを損傷させたりして、漏液、発熱、破裂の恐れがあります。 | ●使用機器によっては仕様や性能が合わない場合があります。 |
| 電池に直接はんだ付けをしない | 直射日光・高温・多湿の場所を避けて使用、保管する |
| ●熱により絶縁物やガス排出弁などを損傷させたりして、漏液、発熱、破裂の恐れがあります。 | ●電池が漏液する恐れがあります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。 |
| 電池は直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温になる場所で使用、放置しない | 電池の使用、保管時に発熱、変形、外装ラベルの破損など今までと異なることに気づいたときは、使用しない |
| ●漏液、発熱、破裂の恐れがあります。 | ●漏液、発熱、破裂の恐れがあります。 |
| | 自治体の条例に従って廃棄してください |

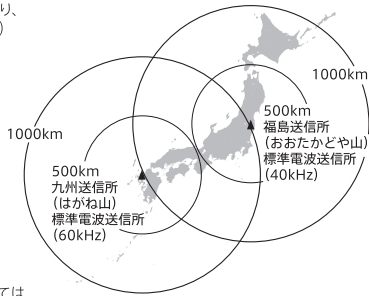
- 使用場所について 下記のような場所では使わない。
(時計本体や乾電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こす原因になります。)

注意 注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。

- | | |
|--|--|
| ●温度が 40℃以上になるところや直射日光の当たる場所。 | ●ビニール系素材の壁や敷物などの上。 |
| ●温度が 0℃以下(氷点下)になる場所。 | ●空気が非常に乾燥した場所や、湿気の多い状態が続く場所、40℃以上の高温になる場所。 |
| ●塵やホコリの多い場所。 | ●電波ノイズを発生させるものの近く。 |
| ●大型テレビやスピーカーのそばなど、強い磁気のある場所。 | ●電波障害の起こる場所。 |
| ●浴室など湿気の多い場所、また水がかかる場所や、加湿器の蒸気が直接当たるような場所。 | ●スチール机など金属製の家具の上や壁の近く。 |

電波時計について

- 電波時計／電波修正機能とは
- ・電波時計とは、正確な時刻情報(日本標準時)を乗せた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。(JY 福島局：周波数 40kHz、九州局：周波数 60kHz)
- 標準電波とは
- ・情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報を乗せた電波で、国内 2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ 10 万年に 1 秒の誤差という超高性能を保つ「原子時計」によるものです。
- 電波受信について
- ・標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所(東西 2カ所)からおおむね 1000 ～ 1200km です。
- ・この商品は 40kHz(東・福島送信所)、60kHz(西・九州送信所)のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し、受信します。
- ・ただし、天候、設置場所、向き、時間帯、あるいは地形や建物の影響などにより、受信できない場合があります。
- ご注意
- ・電波障害などにより、誤った受信をする場合があります。また使用場所や電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、場所を変えてお使いください。
- ・電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
- ・標準電波は、毎時 15 分と 45 分からの各 1 分間はコールサインの送信をおこなうため、一時時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により、停波することがあります。



使い方

使用前の準備

- 本体裏の“①裏蓋”を開けます。
 - 「+」「-」の極性に注意して、単四乾電池を 2 本挿入します。(電池を入れる際は、左から右にスライドさせてください。)
 - 電池を挿入すると、“①ディスプレイ”上のすべてのアイコンが一時的に点灯し、ブザー音が鳴り、その後動作モードに入ります。
- ※ブザー音が鳴った後、自動的に電波を約 10 分間受信します。

